

連協主催 起業講座

報告

「起業したい人 働きたい人 あつまれ♪」と題して、ワーカーズの働き方を知らせる講座を3会場で開催し、延べ50名の参加がありました。地域の中で多世代の交流の場、縦割りではない福祉サービスや居場所を作りたいとの熱い思いや、自分の好きなことを仕事にしたいと小さいお子さんを連れての参加もありました。

自己紹介から始まりフリートークや、テーマ別の事業計画のグループワークをしましたが、終わるころには打ち解けてお互いのやりたい事を熱く語り合う場面もありました。

「会計講座は難しいかと思っていたけれど、分かりやすかった」「資金計画を書いてみると、実現するために必要なことが分かり、とても良かった」「みんなの夢を聞いて楽しかった」「3つの講座を受講してためになった」などの感想があり、お互いの連絡先を交換し合って会場を後にしました。今後は具体的な起業に向け、連絡協議会が窓口として相談・アドバイスを行っていきます。



ワーカーズ見学

- ◇『子育て・食・たすけあいワーカーズ見学ツアー』(11/5)
- ◇『好きなことを仕事にしよう！起業のプランニング体験』(11/11)
- ◇『生きがいと仕事の両立をめざして開業のための会計の知識・事業計画』(11/19)

平成27年度

たすけあい人材育成講座

報告

昨年に引き続き、たすけあいワーカーズの設立を視野に入れ、生活に役立てる知識や技術を学ぶ3回の連続講座(9/16、10/14、10/26)を開催し、延べ61名の参加がありました。



1回目の「傾聴」は、福祉の場に限らず生活のあらゆる面で生かされる技術です。アンケートの感想からは、「深い話をとてもわかりやすく新鮮に聴きました。これからの生き方の参考になりました。」と多くの参加者の心に響いた講義でした。

2回目の認知症の講座では、認知症をネガティブに受け止めない事、本人も不安感から色々な症状がでてくる事、不安を取り除くには、忘れても大丈夫、と今を優しく受け止める事。認知症を正しく理解して対応していく方法を学習しました。

最後の「らくらく介護」では、自分の動きがお手本です。どうやって座るか、どうやって立ち上がるか、自分の動きをスローモーションで確認しながら、本当に楽しいうらくらく介護技術を学びました(写真)。3回の講座、どれもが簡単、なるほど、そして目からウロコが落ちる、とても実践的な内容となり、大好評で終了しました。(理事 齊藤佳代子)

働く仲間 大募集!

ワーカーズ・コレクティブは、札幌市とその近郊で32団体が活動中です。興味のある方は連絡協議会までお気軽にご連絡ください。



ライフスタイルに合わせた働き方をしてみませんか!

生活クラブの業務請負

戸別配送

生活クラブ生協の委託を受けて、手稲区、東区、清田区の3つの配送センターから戸配組合員のお宅に消費材を届ける仕事です。現在20～60歳代までの会員が働いています。収入や社会保険、働き方など相談に乗ります。要普通自動車免許(マニュアル車)。

緊急募集中!

組み込み

生活クラブ生協の委託を受けて、清田区のデリバリーセンターで消費材を袋詰めする仕事です。みんなで話し合いながら、働きやすい環境を作っています。

食

無添加の調味料を基本に、道産・国産の素材を使い、減農薬米を使用したお弁当や仕出し、オードブルなどを提供しています。食べる事、作る事が好きな方、一緒に働きませんか?

子育て支援

子育て中の親を支える事業「一時保育」「おやこひろば」「子育てイベント」など、札幌市とその近郊で、寄り添う気持ちを大切に子育て支援を行っています。

たすけあい

日常生活に必要なお手伝いや、介護保険事業での訪問やデイサービスなどを行っています。各地域で事業所等の拠点を活用して介護予防・孤食の防止を目的にサロンも開催しています。有資格者歓迎。

その他の業種

商店街の一角や、住宅街の一軒家などを利用してリサイクル販売や各種講座を企画しています。地域のニーズに応えた「カフェ」や「親子ひろば」「児童デイ」「学童保育」など、さまざまな事業展開をしています。

2015年度 おもちゃフォーラム 地域版



木のおもちゃや良質な絵本などを用意しています。ぜひ遊びに来てください。

日時 2016年2月13日(土) 10:30～15:00
場所 生活クラブ館・北広島(北広島市美沢1丁目1-2)
参加費 1人200円
主催 NPO法人北海道子育て支援ワーカーズ
問合せ先 TEL 011-632-5180

プレゼント付き

クイズ

正解者の中から抽選で2名様に、ワーカーズ起業本『小さな起業で楽しく生きる』をプレゼント!

Q

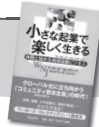
ワーカーズの札幌市障がい者相談支援事業所の名称は?

①ぶるぶる ②ぼれぼれ ③ぼろぼろ (ヒントはP3)

※前号の答え: ③ど〜んとまつり

応募方法

名前・住所・電話番号・クイズの答え・ワーカーズの方は所属名を、FAXまたはメールで、下記の北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会まで送ってください。締め切りは1月末日。答えは次号とHPで発表します。



■発行/特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会
〒060-0052 札幌市中央区南2条東1丁目1-13 南2条ビル201号室
☎ 011-596-0650 FAX 011-596-0651
Email wco28@athena.ocn.ne.jp
http://hokkaido-workers.org

■発行責任/嶋 明美 編集責任/理事会 制作/プランズEPO

■年4回発行 年間購読料/1000円

北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会は1986年に設立。32団体約500名が加入しています。

業種	団体数
食	6
福祉	11
子育て支援	10
業務請負	3
リサイクルと環境雑貨の店	1
企画・編集	1

特定非営利活動法人 北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会 機関紙

No. 40
2016.1

年4回発行

ウィッシュ

Wish

あなたの思いを形に

特集 皆さんの「困った」を一緒に考えます

ワーカーズ
ひと・人

想像力をはたらかせて 利用者さんの求めるサービスを

たすけあいワーカーズ エルサは、高齢になっても障がいを持っても誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護や家事など日常生活の支援を行っています。現在ケアマネジャーとして活動している村田たえ子さんに、エルサの設立から現在までを話してもらいました。

不十分な行政サービスをカバーしたい

「石狩にたすけあいワーカーズを立ち上げるので、一緒にしない?」と、エルサ準備会のメンバーに声をかけられたのが、活動を始めるきっかけになりました。1994年のことです。それまで私は福祉に関わる運動をしていました。車椅子に乗ってバリアフリーの状況を調べたりしていたので、福祉事業を始めるのは自然な流れでした。その頃の介護支援制度は、行政がサービスの内容を決めていて画一的だったため、利用者のニーズを満たしていない面がかなりありました。その部分を私たちが行う自主サービス事業でカバーしたい、という希望もあったのです。

「我がまま言えるようになって良かったね」

設立当初はほとんど事業収入がなく、苦しいこともありましたが、石狩市が「この人にこんなサービスが足りない」と紹介してくれて、細々と続けることが出来ました。2005年からは、一軒家を借りてデイサービスも開始しました。

大事にしてきたのは、利用者さんと十分にコミュニケーションを図った上で、機能訓練を行うことです。声かけをしたり話を聞いたりする中で信頼感が生まれて、訓練の効果につながるからです。時には利用者さんが心を許してくれて我がまを言うこともあります。私たちは「我を出せるようになって、良かった」と喜んでいました。ここで笑ったりグチをこぼしたりして、元気になってくれることが、メンバーのやりがいになっています。

利用者さんの気持ちを推しはかる

デイサービスが軌道に乗ってくると、次は相談機能も必要だと考え、2005年にケアマネジャーの資格を取得しました。毎月、利用者さんのお宅をまわって、現在受



運動が好きです。もう長いことやっていませんが、テニスのバックハンドが得意なんです。いつか再開したいですね

(N) たすけあいワーカーズ エルサ
村田たえ子さん

けているサービスがきちんと実行されているかなど聞き取っています。高齢の人と話をするときは、「気づき」が大切だと感じます。明るく振る舞っていても実は傷ついていることもあり、想像力を使って本当の気持ちに気づくことで、必要とされるサービスが提供できるのではないかと思います。

ワーカーズは介護技術に加えて、そうした精神面について学ぶ研修会も多く、みんなでスキルアップを図っています。これからも利用者さんをどう支えたら良いか、エルサ全体で知恵を出し合いながら、良質なサービスを提供していきたいと思います。【取材/矢城・橋村】

(N) たすけあいワーカーズ エルサ

- ◆設立 1994年12月
- ◆会員 19名
- ◆石狩市花川南6条1丁目111番地 ☎ 0133-72-5757



ワーカーズ・コレクティブとは、生活者の視点から地域に必要な「もの」や「サービス」を市民事業として事業化し、全員が出資・経営・労働する働き方をいいます